

## 2年次選択科目 日光医療センター 糖尿病・内分泌内科研修プログラム

- 1 研修施設：獨協医科大学日光医療センター
- 2 研修期間：1ヶ月～
- 3 指導体制指導責任者：原澤 寛教授 主任指導医：伴場 信之
- 4 募集人数：同期間に2名まで
- 5 研修内容
  - 1) 病棟：指導医の下で、入院患者の受け持ち医として診療にあたり、診断・治療のための各種基本手技、検査オーダー法、負荷試験法、治療法等について習得する。また指導医の指示の下に、適時当直を行い、緊急時・急変時の対応について学習する。
  - 2) 外来：指導医の補助医として外来診療に参加し、基本的な診察法・診断法・治療法を習得する。
  - 3) 各種カンファレンス、抄読会、CPC、講習会、研究会等に参加する。
- 6 診療・研修の特徴
  - 1) 主として入院患者の受け持ち医となり研修を行う。
  - 2) 当センターは地域中核病院であり、地域に根ざした診療を行っている。そのため当科特有の疾患が中心となるが、専門以外の疾患についても診療にあたることもあり、内科医として幅広い診療が可能である。また各科の垣根が低く専門医の助言も容易に受けられるため安心して診療にあたることが可能である。
- 7 研修目標 入院患者・外来患者の担当医として、内分泌・代謝疾患の診断法、治療法の選択、治療の実際について 研修する。

### 診断および検査法

#### 一般目標(GIO)

基本的な診断・検査法を理解し、検査手技・検査オーダーに習熟し、結果を解釈できる

#### 到達目標(SBO)

視床下部・下垂体疾患：下垂体前葉・後葉ホルモン基礎値の測定、種々の負荷試験、単純XP・CT・MRI検査オーダー、その他

甲状腺疾患：甲状腺触診、甲状腺ホルモン測定、超音波検査および超音波検査下での吸引細胞診、CT・MRI検査オーダー、その他

副甲状腺疾患：Ca・P測定、副甲状腺ホルモン、超音波検査、Ellsworth-Howard試験、CT・MRI検査オーダー、その他

副腎皮質疾患：副腎皮質ホルモン基礎値測定、血中・尿中代謝産物測定、種々の負荷試験、副腎CT・MRI検査オーダー、副腎静脈選択的サンプリング オーダー、その他

副腎髄質疾患:血中・尿中髄質ホルモン測定、尿中カテコールアミン代謝産物測定、CT・MRI その他  
膵・消化管ホルモン異常:ホルモン基礎値測定、特にインスリノーマに対して超選択的経静脈 サンプルング  
による局在診断のためのオーダー、その他

糖尿病:診断(1型・2型・その他の糖尿病や糖尿病性昏睡鑑別のための検査)、合併症(細小血管障害/動脈硬化症)の有無の検査(R-R間隔変動率、振動覚、神経伝導速度、ABIによる四肢血流の把握、FMDによる血管内皮機能の評価、尿中微量アルブミン測定、尿中 NAG 測定、血中/尿中 $\beta$ 2-microglobulin 測定、  
眼科との連携による網膜症の判定、インスリン分泌能検査(グルカゴン負荷試験など)、その他 脂質異常症:  
血清脂質測定、アポリポ蛋白測定、リポ蛋白電気泳動・超遠心分離、  
脂質代謝関連酵素・蛋白測定、その他

肥満症:体成分分析器による体脂肪・体蛋白・骨量等の解析、CTによる内臓脂肪測定、  
睡眠時無呼吸の判定のためのオーダー、その他 蛋白および核酸代謝異常:血中・尿中の異常蛋白の測定、血  
中尿酸値の測定、その他

## 治療法

### 一般目標(GIO)

適切な治療方針を決定し、基本的治療を行える

### 到達目標(SBO)

下垂体疾患:ホルモン補充療法、ホルモン抑制療法、外科との適切な連携 甲状腺疾患:甲状腺機能亢進症(抗  
甲状腺剤療法、手術療法)

甲状腺機能低下症(ホルモン補充療法、その他)、甲状腺腫瘍(外科との適切な連携、

経皮的エタノール注入療法) 副甲状腺疾患:副甲状腺機能亢進症(外科との適切連携、経皮的エタノール注入  
療法)、

副甲状腺機能低下症(Ca 製剤・ビタミン D3製剤投与) 副腎疾患:副腎不全(副腎皮質ステロイド補充療法)

副腎腺腫(降圧剤の選択、電解質補正、外科との適切な連携、抑制剤療法)、

褐色細胞腫(降圧剤の選択、外科との適切な連携) 膵・消化管ホルモン異常:薬物療法、外科との適切な連携

糖代謝異常:糖尿病[食事療法、運動療法、薬物療法(経口剤・インスリン製剤・インクレチン関連薬(GLP-1  
など)の使用法)]、インスリン自己注射療法の導入、GLP-1自己注射の導入、血糖自己測定法の導入、糖尿  
病性昏睡や清涼飲料水ケトーシスに対する(補液療法、インスリン療法)、手術患者の術前・術後の血糖コ  
ントロール、IVH 療法中の患者の血糖コントロール 糖尿病性合併症に対する薬物療法、低血糖に対する治  
療法、sick day 対策、糖尿病患者教育とチーム医療の重要性の理解、皮下連続式血糖測定装置(CGM)を用  
いた血糖コントロール

脂質異常症・高尿酸血症:食事療法、運動療法、薬物療法

肥満症:食事療法、運動療法、薬物療法